

- モーダルシフト等による貨物量の増加に対応するため、中央防波堤内側に新規ふ頭（拡張）を検討
- 既存ふ頭では、上屋集約によるヤード拡張、野積場・上屋の多層利用、荷役の効率化等により機能強化
- 内貿・外貿ふ頭の円滑な接続による連携強化

品川内貿ふ頭

- ・ 野積場・上屋の多層利用 (H24)
- ・ 上屋集約によるヤード拡張 (H27)
- ・ 岸壁の耐震化 (工事中)
- ・ ICT等による荷役効率化

10号地その2（西側）ふ頭

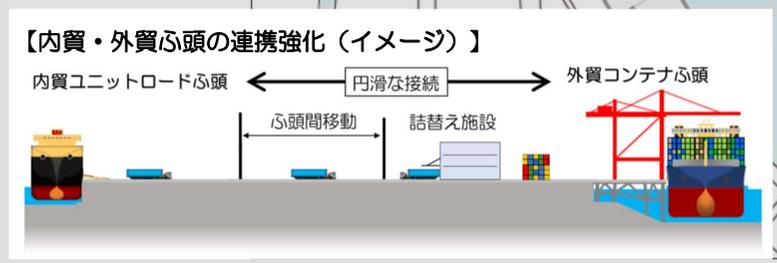
- ・ 上屋集約によるヤード拡張 (R2)
- ・ 岸壁前出しによるヤード拡張 (工事予定)
- ・ 岸壁の耐震化 (工事予定)
- ・ 野積場・上屋の多層利用
- ・ ICT等による荷役効率化

若洲ふ頭
※ 暫定利用

新規ふ頭（拡張）

中央防波堤内側ふ頭（H27供用）

- ・ 野積場・上屋の多層利用 (工事予定)
- ・ ICT等による荷役効率化



ユニットロード貨物量の見通し（試算）と施設対応のイメージ

- ユニットロード貨物量の見通し（概略推計（試算）） [2040年代 1,350万～1,500万トン]
- ユニットロードふ頭の施設対応 [2040年代 1,500万トン]

